

県指定

所在地：今田町上立杭

たんばたちくいのぼりがま

丹波立杭登窯

当窯は上立杭地区の南端、山麓斜面に並列する3基のうちの北側窯で、共同窯（共同所有・共同使用）として現在も使用している登窯である。山の勾配を利用して東西に48mにわたって築かれ、9袋の焼成室を持っている。記録によれば、明治28年（1895）の築窯で、立杭において現存する最も古い窯のうちの一つである。現在では、焚口部である火どころをパーナーに、煙道部の火さき（はちのす）を煙突に改造したものが多く中であって、古様を保つ代表的な窯となっている。

